

9月議会で質問しました

# 土壌汚染

## 徹底調査と対策せまる

### 九大箱崎 跡地利用

日本共産党の綿貫英彦市議（東区選出）は、九州大学箱崎キャンパスの跡地利用について9月議会で質問しました。



市長を追及する綿貫市議（9月13日）

ブルーシートをかぶせただけの「対策」。「粘土質の土をかぶせるか、コンクリートで対策を」と専門家は語ります。（市の提供写真より）



### 対策強化を要求

九大箱崎キャンパスの跡地利用問題では、工学部跡地の一角で深刻な土壌汚染が発覚し、跡地の他の部分も汚染の可能性が高いことが九大によって公表されました（図）。  
綿貫市議は工学部跡地に関わって、専門家の意見も示しながら、徹底した飛散防止対策や、住民の要望にもと



綿貫英彦  
市議会議員

日本共産党

東区民報

2016年11月号外  
議会報告

綿貫英彦市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をお寄せください。（日本共産党東博多地区委員会 ☎631-0037）

発行：日本共産党福岡市議団  
www.jcp-fukuoka.jp  
電話 711-4734 FAX741-4627

ツイッターやっています  
アカウント:watanukihide

無料 生活・法律  
そーだん

東区オフィス舞松原 2-17-30  
毎月第3水曜日 19~21時

弁護士と綿貫英彦市議が相談を受け付けます。サラ金・相続・離婚・生活保護・地域問題など何でもお気軽にどうぞ。

和白・奈多（こちらは弁護士はきまずが綿貫市議はきません）  
毎月第3木曜 19~21時  
美和台 3-7-16 三苦メゾンハイツ 101

赤旗を読みませんか？  
日刊/月3497円 日曜版/月823円  
電話 631-0037へご連絡ください



166,000㎡	汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地
138,000㎡	汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地
119,500㎡	汚染が存在するおそれがないと認められる土地

九州大学が公開した土壌汚染の調査結果（九大ホームページより、一部加工）

### 周辺井戸の調査

綿貫市議の後、九大の地下水調査でヒ素が基準値を超えて検出され、市として「周辺井戸の安全性を確認するための水質調査」をすることになりました。

実現!

周辺の周辺住宅地の井戸水調査を要求しました。

## 「箱崎中学や公園は汚染のない区画へ」

### 有識者の声を紹介



三畏閣（第三学生集会所）（九大ホームページより）

綿貫市議は、三畏閣（さんいかく）など貴重な近代建築物の保存を求めるとともに、樹木のさらなる保存を市長に迫りました。

また、市民から都市

計画審議会に提出された写真をパネルにし

「六角堂（農学部創立50周年記念会館）や周辺の樹木を守るために東西道路はそこを避けてほしい」という声が住民から出ていることを紹介。

綿貫市議は六角堂周辺は市民の憩いの場になっていて、計画の見直しを求めましたが、市は「協議を重ねて決定し都計審でも承認された」として強行する姿勢を見せました。

### 汚染の状況次第で 移転位置を見直せ

さらにキャンパス全体についても、土地利用の計画づくりと土壌汚染対策を並行して進める現在のやり方では、汚染の調査や対策がおざりになると危惧する専門家の声を突きつけ、まず土壌汚染の調査と対策を優先すべきだと求めました。

とりわけ跡地への箱崎中学校移転については、「汚染の恐れがない文系地区に」という有識者の声も紹介して、調査結果次第では位置を見直すことを提起しました。

土地利用計画づくり急がず  
汚染の調査と対策を最優先に

## 貴重な近代建築物と 周辺の樹木など 保存求める

東西道路の計画は見直しを



# 健康増進ゾーン 存続せよ



東区貝塚にある「タラソ福岡」  
(九州リースサービスのホームページより)

綿貫市議が市長に求める



9月議会でも市長に質問する  
綿貫市議 (9月13日)

利用者が  
多数傍聴



怒り

市長の姿勢に

質問には「タラソ福岡」を利用して来た人たちが多数傍聴に訪れ、終了後、「なぜ市長は答弁しないのか」「一度でも施設を見るべきだ」など市長の姿勢に対し怒りをあらわにしました。

綿貫市議は、「類似施設の増加」という市が掲げる廃止理由を検証し、温海水を使った施設は他にあるかとただすと、市内には他にないことが判明。  
質問の中で、環境局長はこのゾーンについて「健康増進に一定の役割を果たしてきた」と認めましたが、市は「老朽化して大規模改修が必要だが、事業者が撤退し、手を挙げる企業もない」としています。

市側も「類似施設ない」  
「役割果たしてきた」

臨海工場の余熱利用施設「タラソ福岡」(東区)の健康増進ゾーンについて、市は来年3月末をもって廃止する方針を打ち出し、利用者から存続の請願が出されるなど廃止反対の声が広がっています。  
綿貫市議は、9月議会でのこの問題を取り上げました。

綿貫市議のコメント



存続へ引き続き  
がんばります

利用者の方々から「タラソに行って健康になれた」「かけがえのない仲間ができた」「温海水は他にない」など切実な声を聞きました。こんなに役立っている施設をなくす道理はありません。説明会でも市は説明不能におちいり、二度目を開かざるをえなくなったと聞きました。引き続き利用者みなさんとともに存続へがんばります。

民間任せゆきづまり  
市直営で続けよ

綿貫市議は、事業を投げ捨てるのはPFI(※)という民間任せの市のやり方が行き詰まったものだとして批判。  
市民の健康増進のため市の直営で事業を継続するよう迫りましたが、副市長は「終了させていただく」と利用者の願いを冷たく切り捨てました。

※PFI……民間資金などの活用による公共施設整備

## 学校教室 エアコン

# 冬の暖房使用認めよ



エアコンの導入や暖房使用についての綿貫市議の質問を報じる新聞各紙

日本共産党の綿貫市議は、9月議会でも学校のエアコン問題についても質問しました。

校長の冷房使用判断  
市教委の干渉やめよ

冷房使用について、学校でエアコンを6月に使ったり、28度未満で運転したりすると、教育委員会から報告を求められ干渉されるケースが複数の学校で起きている問題を取り上げ、「学校の判断で運転しても差し支えない」ことを確認させました。

市長「教育長に  
検討お願いした」

冬季の暖房使用について、綿貫市議は、高島市長が市内の学校を訪問した際に生徒から暖房使用を要望され「僕もそう思う」「教育長に使用をお願いしたい」と述べたと報道されたことを示し、教育長に要求したのかとただすと、市長は「寒い時はつけていいんじゃないか。検討をお願いした」と答えました。



「しっかり検討している」と答弁しました。

ステップルーム、  
特別教室に設置を

また、理科室などの特別教室や、不登校ぎみの生徒のためのステップルームのエアコン設置を求めました。

教育長「しっかり検討している」